



福島医発第 2260 号 (地)
令和 6 年 11 月 20 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

令和 5 年度定期予防接種に係る間違い報告について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり福岡県保健医療介護部より本県における定期予防接種に係る間違い報告事例をとりまとめた旨、連絡がありました。

間違い報告については、特にHPVワクチン（子宮頸がん）について、既定の間隔を空けずに接種した間違い事例が多いとのことです。

接種間隔の考え方については、下記をご参照ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

記

○接種間隔の考え方

- ・単位が「月」の場合「〇月の間隔をおいて」など

例：令和 2 年 1 月 15 日に接種した場合の「1 月以上の間隔をおいて」の考え方
接種日（令和 2 年 1 月 15 日）の翌月の同日（令和 2 年 2 月 15 日）の前日（令和 2 年 2 月 14 日）に 1 月が経過したと考えます。

したがって、この場合「令和 2 年 2 月 15 日以降（2 月 15 日は含まれません。）」に次回の接種が可能となります。

- ・翌月に同日となる日が存在しない場合は、翌月の最後の日に 1 月が経過したと考えます。

例：令和 2 年 1 月 31 日に接種した場合、

令和 2 年 2 月 29 日に 1 月を経過したと考えますので、1 月以上の間隔をおいた日は令和 2 年 3 月 1 日となります。（3 月 1 日以降に次回の接種が可能となります。）

公印省略

6 疾病第 2 3 5 8 号
令和 6 年 1 0 月 1 6 日

公益社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課)

令和 5 年度定期予防接種に係る間違い報告について

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記について、本県に報告があった事例を別添のとおりまとめましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対し周知いただくとともに、引き続き、予防接種の実施について遺漏なきようお願いいたします。

また、福岡県予防接種センターとして指定しております各医療機関に対しては、当課から送付していますので申し添えます。

【問い合わせ先】

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課

感染症企画係 高木

TEL : 092-643-3596 FAX : 092-643-3331

E-mail : takaki-r7887@pref.fukuoka.lg.jp

令和5年度 定期予防接種に係る間違い報告について

1 概要

- 令和5年度に定期予防接種に係る間違いとして、各市町村から県（本庁・各保健所）への報告内容を取りまとめたもの、
- 令和5年度の報告件数は、186件（対象者180名）。

2 報告内容

(1) 発生場所

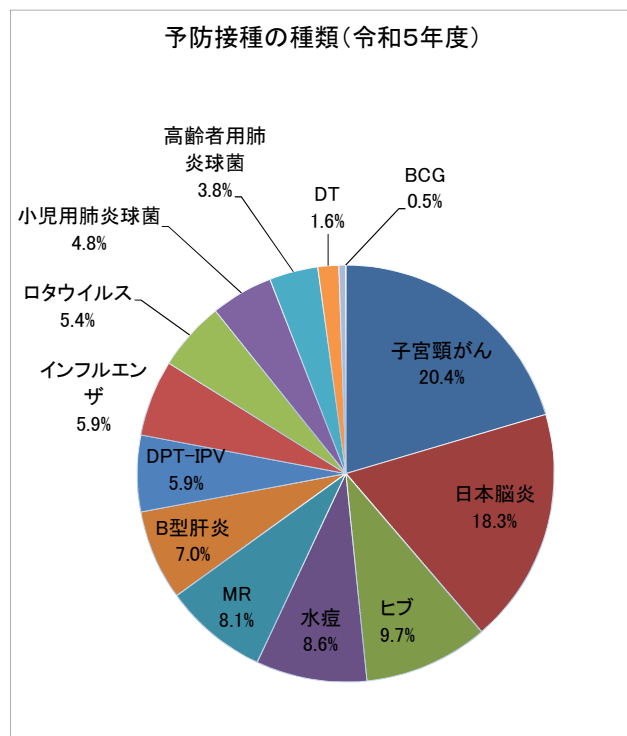
- すべて医療機関で発生（個別接種）している。

場所	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
医療機関	186	100.0%	216	100.0%
市町村保健センター	0	0.0%	0	0.0%
計	186	100.0%	216	100.0%

(2) 予防接種の種類

- HPVが最も多く、続いて、日本脳炎、ヒブが多くなっている。

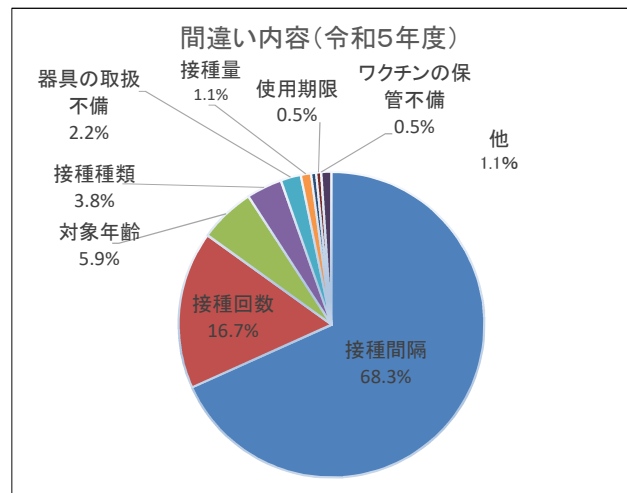
種類	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
子宮頸がん	38	20.4%	37	17.1%
日本脳炎	34	18.3%	46	21.3%
ヒブ	18	9.7%	18	8.3%
水痘	16	8.6%	14	6.5%
MR	15	8.1%	24	11.1%
B型肝炎	13	7.0%	14	6.5%
DPT-IPV	11	5.9%	13	6.0%
インフルエンザ	11	5.9%	5	2.3%
ロタウイルス	10	5.4%	19	8.8%
小児用肺炎球菌	9	4.8%	16	7.4%
高齢者用肺炎球菌	7	3.8%	5	2.3%
DT	3	1.6%	4	1.9%
BCG	1	0.5%	0	0.0%
DPT	0	0.0%	1	0.5%
生ポリオ	0	0.0%	0	0.0%
単独不活化ポリオ	0	0.0%	0	0.0%
計	186	100.0%	216	100.0%



(3) 間違い内容

- 接種間隔が最も多く、続いて、接種回数、対象年齢が多くなっている。
- 間違いの多くは、市町村で確認した際に発覚している。

種類	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
接種間隔	127	68.3%	125	57.9%
接種回数	31	16.7%	32	14.8%
対象年齢	11	5.9%	27	12.5%
接種種類	7	3.8%	16	7.4%
器具の取扱不備	4	2.2%	0	0.0%
接種量	2	1.1%	5	2.3%
使用期限	1	0.5%	3	1.4%
ワクチンの保管不備	1	0.5%	0	0.0%
接種場所	0	0.0%	1	0.5%
他	2	1.1%	7	3.2%
計	186	100.0%	216	100.0%



※ 具体的な事例は以下のとおり

- ・ 既定の間隔を空けずに接種した。（HPVワクチン等）
- ・ 規定回数以上接種した。
- ・ 対象年齢外に接種した。
- ・ 接種すべきワクチンと違うワクチンを接種した。
- ・ 規定量以上に接種した。
- ・ 使用期限切れのワクチンを接種した。

(4) 重大な健康被害につながるおそれのある間違い

- 日本脳炎が2件、MR、B型肝炎、HPV、BCGが各1件となっている。

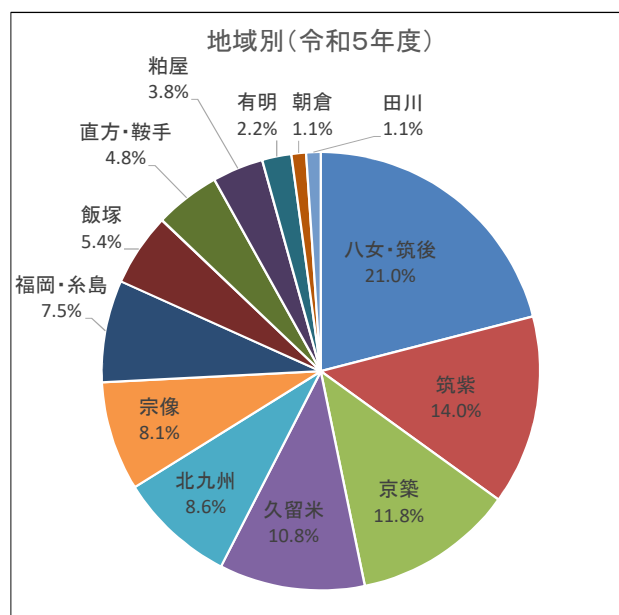
ワクチン	具体的な内容	件数
日本脳炎	3歳未満の児に対し、通常0.25ml接種するところ、0.5ml接種	1
	1人1箱使用し廃棄すべきワクチンを冷蔵庫に保管し、翌日使用	1
MR	使用期限切れのワクチン接種	1
B型肝炎	通常0.25ml接種するところ、0.5ml接種	1
子宮頸がん	姉妹で受診した際、先に接種した妹に使用した針を姉に使用	1
BCG	前の患者に使用した管針を誤って使用	1
計		6

令和5年度 定期予防接種に係る間違い報告について

(5)地域別

○ 八女・筑後が最も多く、続いて、筑紫、京築が多くなっている。

地域	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
八女・筑後	39	21.0%	14	6.5%
筑紫	26	14.0%	29	13.4%
京築	22	11.8%	10	4.6%
久留米	20	10.8%	33	15.3%
北九州	16	8.6%	43	19.9%
宗像	15	8.1%	8	3.7%
福岡・糸島	14	7.5%	28	13.0%
飯塚	10	5.4%	22	10.2%
直方・鞍手	9	4.8%	8	3.7%
粕屋	7	3.8%	7	3.2%
有明	4	2.2%	5	2.3%
朝倉	2	1.1%	6	2.8%
田川	2	1.1%	3	1.4%
計	186	100.0%	216	100.0%



【参考】 予防接種毎の間違い内容

令和5年度	接種 間隔	接種 回数	対象 年齢外 に接種	接種 種類	接種 量	使用 期限切	接種 場所	器具の 取扱 不備	ワクチン の保管 不備	他	計
子宮頸がん	33	0	0	2	0	0	0	3	0	0	38
日本脳炎	15	15	2	0	1	0	0	0	1	0	34
ヒブ	15	1	1	1	0	0	0	0	0	0	18
水痘	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
MR	6	0	7	1	0	1	0	0	0	0	15
B型肝炎	11	0	0	1	1	0	0	0	0	0	13
DPT-IPV	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11
インフルエンザ	0	9	0	1	0	0	0	0	0	1	11
ロタウイルス	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	10
小児用肺炎球菌	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
高齢者用肺炎球菌	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7
DT	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
BCG	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
DPT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単独不活化ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	127	31	11	7	2	1	0	4	1	2	186

令和4年度	接種 間隔	接種 回数	対象 年齢外 に接種	接種 種類	接種 量	使用 期限切	接種 場所	器具の 取扱 不備	ワクチン の保管 不備	他	計
子宮頸がん	34	1	0	1	0	0	1	0	0	0	37
日本脳炎	16	18	6	0	5	0	0	0	0	1	46
ヒブ	13	0	2	0	0	0	0	0	0	3	18
水痘	12	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14
MR	4	4	10	2	0	3	0	0	0	1	24
B型肝炎	13	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
DPT-IPV	7	1	3	2	0	0	0	0	0	0	13
インフルエンザ	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5
ロタウイルス	5	2	4	8	0	0	0	0	0	0	19
小児用肺炎球菌	13	0	2	1	0	0	0	0	0	0	16
高齢者用肺炎球菌	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
DT	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
BCG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DPT	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
生ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単独不活化ポリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	125	32	27	16	5	3	1	0	0	7	216

新型コロナワクチン接種に係る間違い報告について

1 間違い内容

- 接種間隔が最も多く、続いて、接種量、接種回数が多くなっている。

種類	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
接種間隔	120	33.3%	884	72.0%
接種量	85	23.6%	71	5.8%
接種回数	61	16.9%	76	6.2%
接種種類	45	12.5%	120	9.8%
使用期限	36	10.0%	22	1.8%
対象年齢	7	1.9%	30	2.4%
接種場所	3	0.8%	3	0.2%
器具の取扱不備	1	0.3%	9	0.7%
ワクチンの保管不備	1	0.3%	2	0.2%
他	1	0.3%	10	0.8%
計	360	100.0%	1,227	100.0%

2 重大な健康被害につながるおそれのある間違い

- 接種量が最も多く、続いて、使用期限、接種種類が多くなっている。

	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
接種量	74	59.7%	10	6.9%
使用期限	35	28.2%	20	13.9%
接種種類	11	8.9%	52	36.1%
接種回数	2	1.6%	29	20.1%
器具の取扱不備	1	0.8%	9	6.3%
ワクチンの保管不備	1	0.8%	1	0.7%
接種間隔	0	0.0%	9	6.3%
対象年齢	0	0.0%	9	6.3%
接種場所	0	0.0%	2	1.4%
他	0	0.0%	3	2.1%
計	124	100.0%	144	100.0%

※ 具体的な事例は以下のとおり

(令和5年度)

- ・接種量誤り
- ・有効期限切れ(冷蔵期限含む)
- ・使用済み注射器の使用

(令和4年度)

- ・規定回数を超えた接種
- ・12-17歳にモデルナワクチンを使用(R4.11月まで)
- ・有効期限切れ(冷蔵期限含む)
- ・初回接種でオミクロンワクチンを使用